

2011

# 教文ニュース

2011年  
教文2号  
文責 森  
2011/6



## 夏がくれば夏季教研

**11年度は、教科別分科会を開催！！**

### レポートの仕上げはお早めに

2011年度は、教祖共闘九州ブロック教職員学習交流集会・3県高校学習交流集会が、11月26・27日の両日長崎市で開催予定のため、例年の夏季教研（領域別）と秋の県教研（教科別）に日程を入れ替えて開催することになりました（教文専門委員会で確認）。

**教育講演会のお知らせ**

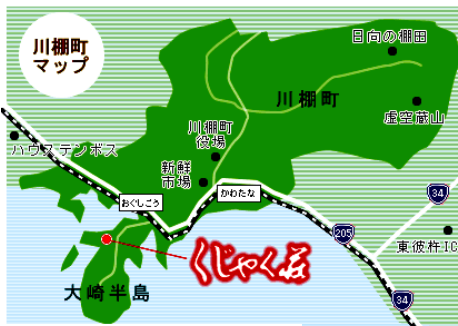
とき…八月十日（水）午後

ところ…くじやく荘（川棚町）

仮題 高校教育の再生の道はどこにあるか

講師…佐古田 博さん（日高教文部長）

レポートを準備していた方には、大変ご迷惑をおかけしますが、報告の順序を夏と秋を入れ替えてお願いします。



分科会	討議の柱
1 国語	(1) 自主教材づくりについて。 (2) コミュニケーション力について。 (3) 「教え」から「学び」への授業づくりをどのようにすすめるか。
2 外国語	(1) 外国語教育のさまざまな課題 (2) 生徒がわかる楽しい授業をめざして
3 社会科	(1) 改訂学習指導要領の批判学習
4 数学教育	(1) 生徒の興味・関心をひく自主教材の編成。 (2) 低学力の生徒をどう指導したか。 (3) 受験体制の中での数学教育のあり方について。 (4) 教育実践を持ち寄って交流する。
5 理科教育	①授業に興味を持たせ、わかりやすくする工夫をどうするか。 ②教育課程の編成と自主教材づくりをどのようにすすめるか。 ③理科教育を教諭、実習教員集団とどのように取り組むか。 ④科学部活動を活性化させるにはどうすればいいか。
9 工業教育	(1) 不況下における進路指導のあり方 (2) 自主教材づくり
10 家庭科	(1) 短時間でできる効果的な実験・実習
11 保健体育	①体と心を豊かにする保健・体育の授業をめざして ②性教育のとりくみについて ③保健室からの声 ④日常生活における心と体
12 学校図書館	①学校図書館を活性化するにはどうすればよいか ②学校図書館を教育の中にどう位置づけるか ③専任学校司書の設置のための法制化をどのように進めていくか
13 現業事務	(1) 現業職員任用替え実務研修の現状 (2) 任用替えの問題点

# なぜいま「新しい高校教育政策」なのか

公立高校の授業料無償化が昨年からはじめられました。

授業料が無償になったことで、今後日本の教育はどう変わってゆくのか。あるいは、これを契機として私たちはこの国の教育をどう変えていったらいいのか。

とはいえ、今回の授業料無償化には多くの課題が取り残されています。

たとえば、すでに卒業した人が再入学した場合の授業料については自治体にままされているために、長崎県のように徴収する自治体も多数あります。また、私学の学費負担はまだ大変

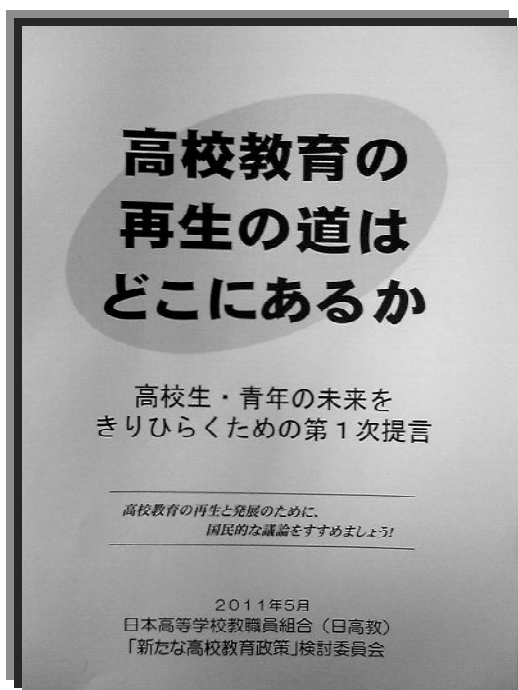
い状態です。公立でも学校納付金や制服、教科書などの負担は高額に上っています。

そもそも授業料減免措置を受けていた生徒には、無償化は何の変化ももたらさなかったのです。

教育学者の内常一さんが指摘するように、世代の10%はいるであろう中卒の子どもたち、高校を中退した子どもたちの修学の問題は、今回の授業料無償化からはまったく取り残され、忘れられたままでした。

彼らの多くは教育課程から排除され、仕事からも排除され、貧困の中に沈み込んでいます。

## 日高教の高校教育への提言



日高教が今回作った「高校教育の再生の道はどこにあるか」という提言は、とても読み応えがあり、新たな視野を広げてくれる素晴らしいものです。

「現在、当たり前のように私たちが行っている高校教育が、本当に生徒の学習権を保障するものとなっているのか？」

「教師の都合で、いい加減なルーティンワークに陥っていないか？」

「無償化に相応しい高校教育とはどのようなものなのか？」

多忙の中で、思考停止に陥りがちな学校現場に大きな問題を提起してくれる

この冊子、読めば読むほど、今までのわだかまりが解けていくような興奮を覚えます。

かくいう私も、学校現場では、理想を忘れて、現実には流されていました。次に学校に戻った時に、この提言を実行に移せるか、自信はありません。ただ、この提言から得たものを、学校の中で共有しながら学校づくりをすすめていくことはできるかもしれないと感じています。

明日の中央委員会で、とりあえず、組合員分をお渡しします。ぜひ、時間を見つけてお読みいただいて、原点に立ち戻った教育が実現できるよう、ともに奮闘していきましょう。

(宮城高教組ブログより)